

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2092500020		
法人名	特定非営利活動法人中部日中友好手をつなぐ会		
事業所名	グループホーム大地		
所在地	長野県下伊那郡阿智村駒場703-1		
自己評価作成日	令和 3年 2月 5日	評価結果市町村受理日	令和 3年 4月 19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kan=true&JlgvossyoCd=2092500020-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 3年 3月 11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

南信州の自然の中で長く暮らしてこられた方々が、馴染みのある環境の中で、最後まで本人らしく、ゆったり落ち着いて暮らすことができるような支援に取り組んでいます。その為に、全職員が一つのチームになれるよう人材育成をしています。また、法人の設立理念に基づき、中国残留孤児・婦人の方の積極的な受け入れを行っています。中国語での対応の為、中国人スタッフも雇用。共用型通所サービスの展開しており、口コミで利用してくれる方が増えてきました。認知症対応型サービス事業所は阿智村では当事業所だけということもあり、地域における認知症啓発活動など、地域に根差した専門職チームになれるようこつこつと取り組んでいきたい。

春には見事な「花桃」の花が咲き誇り、日本一の星空と南信州の豊かな自然に囲まれた中に開設から14年目を迎えた当ホームがある。利用者の平均介護度3.3、平均年齢90歳と高齢化が進んでいるが、運営理念を支援の柱とし「ゆっくり、のんびり、一緒に」をモットーに、自然豊かな環境の中で自由に思い思いの日々を送っていただけるよう支援に取り組んでいる。開設以来、認知症サポーター養成講座やオレンジカフェへの参加等、地域の人々との地道な交流活動に力を入れている。そのような中、3年前に行った当ホーム10周年記念祝賀会には地域の皆様を中心に100数十名の皆様が来訪し盛大にお祝いの席が持たれ、身近で親しまれるホームとして新たなスタートを切った。また、当ホームの特徴の一つに運営推進会議の濃さを上げることができ、会議を儀礼的に行うのではなく、施設長より、利用者の日々の役割と楽しみ、ホーム内行事、コロナ感染対策等、当ホームでの暮らし方についてきめ細かく話をし、それに対して参加メンバーから様々な質問や提案を頂き、ケアの向上に繋げている。また、毎回、「災害対策」「新型コロナ対応」「事業運営」等のテーマを設け、積極的な意見交換がされている。更に、年2回は家族会も合わせて行われ、会議後「バーベキュー大会」や「五平餅大会」等で利用者と共に楽しいひと時を過ごしている。今年度は新型コロナの影響を受け3回は内部のみでの会議開催となったが、3回は通常の参加メンバーの出席をいただき村の「中央公民館」の会議室で開催し、地域に密着したホームとして活動を続けている。新型コロナ禍という状況が続いているが、家族の面会以外は感染対策をしっかりと行つた上で通常の生活を送ることを心掛け、通所デイサービスの利用者と共に食事やゲーム等を行い、楽しい日々を送れるよう支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	南信州の	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				